

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成29年6月20日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 碧南市棚尾本町4-10	
氏 名 ㈱平岩鉄工所 代表取締役 平岩統一郎	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0566-41-0080	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	㈱平岩鉄工所 亀ヶ下工場
事業場の所在 地	碧南市川端町1-8
計画期 間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	22：鉄鋼業
②事業の規 模	製造品出荷額 575,539万円
③従業員 数	219名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙②のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度 (平成 2 8 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物の種類・排出量については別紙①のとおり ・ラインから排出される過剰な鋳物砂 (鋳さい) を同業者に売却することで排出量を低減した。 ・水溶性機械油のオーバーフロー低減 (水の出し放し (止め忘れ) による無駄な廃油の低減に取り組んだ。 ・油付ウエスを洗濯して再び自社工場で使用する。		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・現状を維持する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・鋳さい、廃油、廃プラ、木屑、繊維屑、紙屑をそれぞれ分別し、保管している。 ・ペットボトルの蓋を分別し回収業者へ持ち込んだ。 ・テープの巻き芯を分別し、回収業者へ送付した。		

	3 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状を維持する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	1 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	繊維屑	—
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	— t
		(これまでに実施した取組) ・塩ビ・ポリウレタン・ゴム等の手袋を再利用原料として売却した。 ・油付ウエスを洗濯して再び自社工場で使用した。 ・排出している鋳さいを少しでも使用できる鋳物砂として再利用できるように取り組んだ。		
	2 計画	【目標】		
産業廃棄物の種類		繊維屑	—	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	— t	
(今後実施する予定の取組) ・現状を維持する。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	1 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	—	—
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t

		(これまでに実施した取組) 実施していない	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	—
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t
		(今後実施する予定の取組) 減量、熱回収等の中間処理については大変困難な為、 委託処理により実施していく	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—

		全処理委託 量	— t	— t
		優良認定処理業者への 処理委託 量	— t	— t
		再生利用業者への 処理委託 量	— t	— t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	— t	— t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託 量	— t	— t
		(これまでに実施した取組) 産業廃棄物・各委託量については別紙③のとおり		

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	—	—
		全処理委託 量	— t	— t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	— t	— t
		再生利用業者への 処理委託 量	— t	— t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	— t	— t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	— t	— t

		(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物・各委託量については別紙③のとおり ・埋め立て処分委託を抑えて、再生利用業者への委託率を上げていく ・新たな再生利用業者の開拓
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程

鑄造工場	鋳さい	再生処理業者に委託してセメント材として再資源化 最終処分業者に委託して埋立処分
	廃プラ	再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 中間処理業者に委託して破碎後、埋立処分
	★木屑	再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化
	★繊維屑	中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
	★紙屑	再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化
	★陶ガラ	再生処理業者に委託して建設材料として再資源化
加工工場	廃油	優良認定処理業者に委託して脱水後、埋立処分
	廃プラ	再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 中間処理業者に委託して破碎後、埋立処分
	★木屑	再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化
	★繊維屑	中間処理業者に委託して焼却後、埋立処分
	★紙屑	再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化
	金属屑	再生処理業者に委託して鉄として再資源化

★は混合物にまとめる(電子マニフェスト導入により産業廃棄物の種類が変更になった。)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

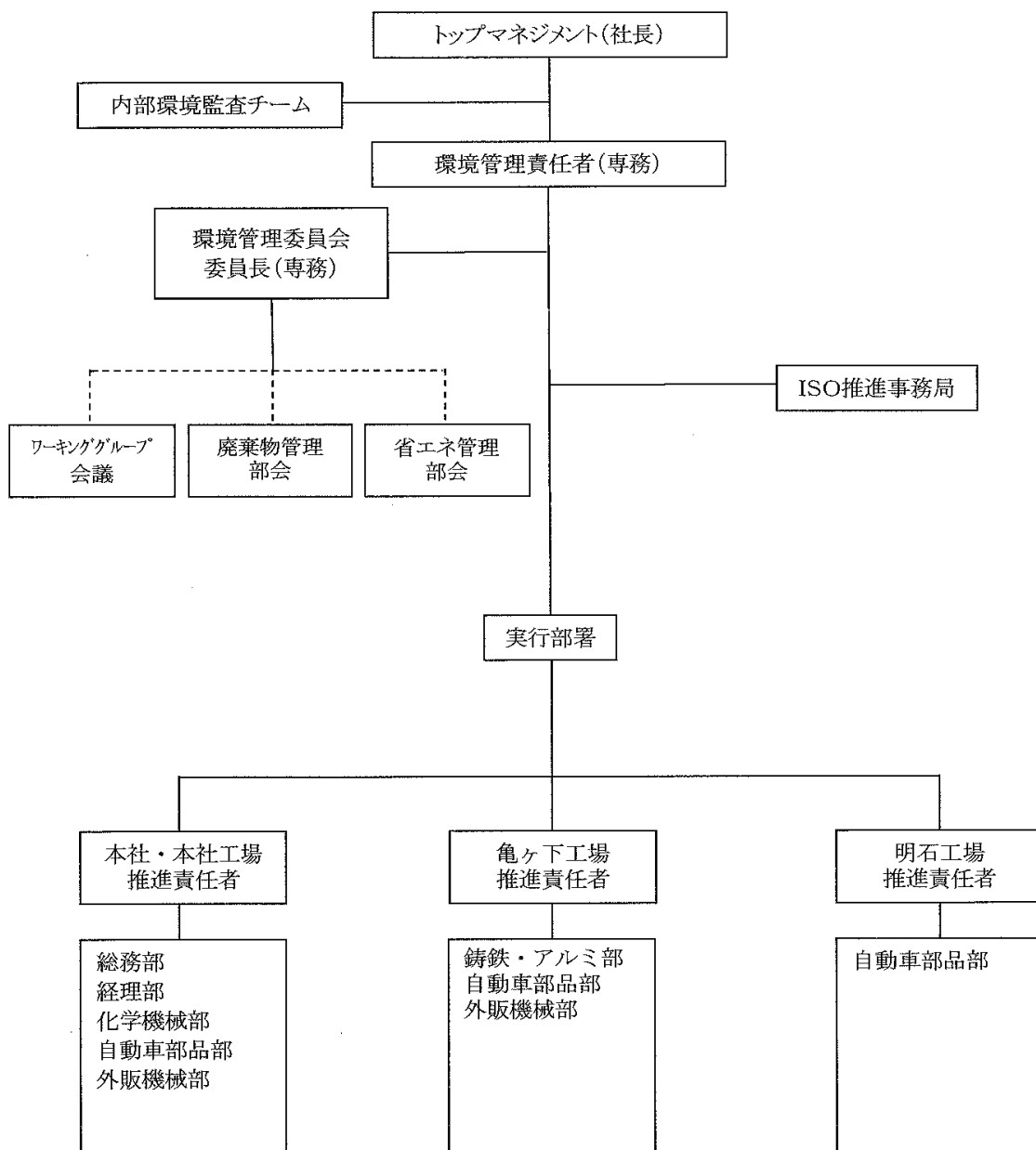
①現状	【前年度実績】 (平成 28 年度 :2016 年 4 月～ 2017 年 3 月)				
産業廃棄物の種類	鋳さい	廃油	廃プラ	★混合物	金属屑
排出量(t)	4667	109	58	4	120

計画	【次年度目標】 (平成 29 年度 :2017 年 4 月～ 2018 年 3 月)				
産業廃棄物の種類	鋳さい	廃油	廃プラ	★混合物	金属屑
排出量(t)	4620	107	57	4	118

別紙②

文 書 名	環境マニュアル	文 書 番 号	HEM-01	版 数	20	頁	23/24
-------	---------	---------	--------	-----	----	---	-------

ISO14001 環境マネジメント推進組織



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状		【前年度実績】 (平成 28 年度 :2016年 4月～ 2017年 3月)				
産業廃棄物の種類		鉱さい	廃油	廃プラスチック	★混合物	金属屑
全処理委託量(t)		4667	109	58	4	120
優良認定業者への処理委託量		—	109	—	—	—
再生利用業者への処理委託量		4563	—	58	4	120
認定熱回収業者への処理委託量		—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		—	—	—	—	—

②計画		【次年度目標】 (平成 29 年度 :2017年 4月～ 2018年 3月)				
産業廃棄物の種類		鉱さい	廃油	廃プラスチック	★混合物	金属屑
全処理委託量(t)		4620	107	57	4	118
優良認定業者への処理委託量		—	107	—	—	—
再生利用業者への処理委託量		4517	—	57	4	118
認定熱回収業者への処理委託量		—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		—	—	—	—	—